

「明日の長野県農業を担う若人のつどい」が開催されました。

令和5年2月7日に佐久平交流センターを会場に3年ぶりとなる対面での「明日の長野県農業を担う若人のつどい」が開催されました。佐久地域代表としてプロジェクト発表部門で佐久市の大森光さんと南相木村の丸山英樹さんが発表しました。

大森さんは、佐久地域の水田で問題になっている雑草イネ(通称、赤米)の撲滅に向けた3年間の取り組みについて発表しました。丸山さんは、自身の夏秋イチゴでの農業経営を安定させるためのポイントや、観光農園で南相木村に地域貢献をしていきたいという目標を発表しました。審査の結果大森さんが優秀賞、丸山さんが最優秀賞を受賞し、両氏とも来年度の関東ブロック大会への出場が決まりました。

大森さんからは、「最優秀賞を獲得できなかったのは悔しいが、関東ブロック大会に向けて内容をブラッシュアップしていきたい。」との感想がありました。

丸山さんは、「この度は最優秀賞を頂き、ありがとうございます。つどいをとおして、県内の高い志を持った農業者さんから良い刺激を受けました。演題である"安定した農業経営"を実現させるために努力し、農業や地域の振興を通じて地域の皆さんへの恩返しをしていきたいです。」と力強く抱負を語られました。

	発表テーマ	受賞	備考
大森 光さん プロジェクト発表	赤米は撲滅できる！ ～3年間の軌跡～	優秀賞 (長野県農業会議議長賞)	関東ブロック 大会へ出場
丸山 英樹さん 意見発表	夏秋イチゴで安定した経営を目指して	最優秀賞 (長野県知事賞)	

